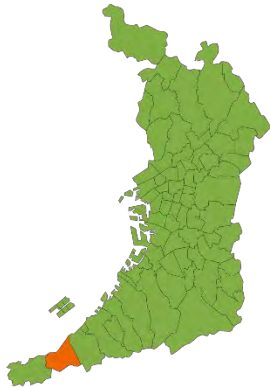


大阪府阪南市

阪南市の産業振興と魅力発信



【活動の基本情報】

参加学生数: 8 名

(1 年生: 4 名、2 年生: 2 名、3 年生: 2 名)

活動期間: 2023 年 6 月～2025 年 1 月

担当教員: 佐々木壮太郎

1. 活動実施の経緯

阪南市での活動は 2018 年度から続けており、昨年度の活動より「阪南市の産業振興と魅力発信」をテーマとしている。阪南市は、観光資源は豊富にあるが、その良さが PR しきれていないという現状認識があり、2 年前に立ち上げた阪南美食ブランド「KUU 食う」および阪南ガストロノミーツーリズムの展開を目指している。活かされていない魅力の PR を学生の視点で取り組むという趣旨での活動となる。

2. 活動の内容

学生視点で阪南市の魅力を掘り起こし、その魅力を多くの人に発信する活動を行なった。

- ①受入側を交えてのミーティング、学生同士のミーティング
- ②阪南市の魅力を知るためのまち歩き
- ③匠の ippin、やぐらパレードの見学
- ④はんなん産業フェアへの参加、アンケート調査、等
- ⑤SNS での宣伝活動、ショート動画の作成、等
- ⑥はんなん TV 出演
- ⑦牡蠣フェス、葛城修験 50 周年イベントへの参加
- ⑧情報発信活動のための現地取材、等

3. 活動を通じて

これまで数年間続いたコロナ禍の影響からほぼ脱し、イベント参加等の現地での活動機会を充実させることができた。今年度は阪南市での活動 2 年目となる学生もあり、昨年度から本格的に取り組んでいる SNS (Instagram、TikTok) を用いての PR 活動、そしてそのための動画編集など、蓄積されてきた各種ノウハウを活かす取組にも挑戦することができた。そのほか、ローカル TV へ出演する機会なども得られた。情報発信については、フォロワー数の増加といった目に見える成果もあげることができたが、思うようにいかなかった部分について反省したり、文章の内容やハッシュタグの用い方等について工夫したりするなど、実践的活動からしか得ることができない多くの貴重な経験を得られたことが重要である。

これらの経験から学んだ知見や気づきを、座学での学修などにもきちんとフィードバックし、今後の学生生活に活かしてほしい。

4. 成果ポスター

阪南市LPP2024年度活動報告

叶彩乃 中野真緒 飯島颯太 中山穂香 川上凱 中島千華瑚 端野莉子 三澤孝未

○活動目的

阪南市とは？

阪南市は、大阪府南部の泉州地域に位置する大阪府の中で最も新しい市であり、大阪湾と和泉山脈に囲まれた地域です。月化粧ファクトリーやせんなん里海公園など魅力的な観光スポットが多く存在します。また、豊かな自然を活かした新鮮な野菜や魚介類などの食、阪南市内各地区のやぐらが集まりスピード感あふれる勇壮な曳行が繰り広げられる秋祭りなども魅力となっています。

課題

阪南市の課題は、日本の夕日百選に選ばれた公園や老舗酒造、月化粧ファクトリーなどの観光資源が豊富にあるにもかかわらず、その良さをPRしきれていないことです。そこで実際にまちあるきに行ったイベントに参加したりして、魅力を発見する活動を行いました。さらにその様子をSNSで発信することで魅力の多い阪南市の認知拡大を目指しました。

阪南市



○まちあるき

最初の活動として、阪南市をよく知るためのまちあるきを実施しました。

匠のippin

商工会1階の産直市である匠のippinで、阪南市の事業者様が作る特産品を販売する様子を見学させていただきました。

苔こっこ

様々な苔や石、砂を使った個性的な苔テラリウム作りを体験させていただきました。

浪花酒造

歴史ある酒造を見学させていただき、伝統的な日本酒の作り方などを説明していただきました。

せんなん里海公園

目の前に広がる大阪湾と美しい夕日を見ることができました。

月化粧ファクトリー

大阪銘菓である月化粧が作られる様子を見学し、その歴史についても学びました。

○地域でのイベント

阪南産業フェア



阪南市商工会が開催する地域活性化事業への参加として11月3日(日)に「はんなん産業フェア」で事業者様のブースをお手伝いさせていただきました。対面販売の体験を通してイベントに訪れた地域の方々や事業者の方々と交流することができました。

さらに、阪南市の産直市である「匠のippin」で販売されている商品を紹介するポップを制作させていただきました。

牡蠣フェス & 葛城修験日本遺産認定5周年イベント

1月11日(土)には「牡蠣フェス」「葛城修験日本遺産認定5周年イベント」のお手伝いをさせていただきました。阪南市は大阪府で初めて牡蠣の養殖に成功した市であり、和歌山県、奈良県、大阪府の19市町村にまたがる葛城修験の石碑がある市でもあります。今回のイベントはそれらの魅力を来場者の方々にお伝えするためのものでした。

私たちはアンケートの回収に取り組んだほか、出店ブースの撮影や体験なども行いました。



○SNS発信 & 動画制作

InstagramやTikTokに、まちあるきで訪れたスポットや学生たちの活動の様子を紹介する動画などを投稿しました。SNSを通じて阪南市の魅力を一人でも多くの方に伝えたいという想いを込め、投稿ごとに役割分担を行いながら、動画制作や文章の考案をそれぞれが担当しました。



HANNAN_CITY_LPP



和歌山大学阪南市LPP

○活動を振り返って

阪南市LPPは2年間の活動で、まちあるきやイベントへの参加、SNS投稿などを通じて阪南市の魅力を発信してきました。特にショート動画に関しては、より多くの方に届けるために構成や拡散方法にたくさん工夫を凝らしました。ここまで活動できたのは阪南市の市役所や商工会の方々、事業者の方々、そして応援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

4. 2024 年度合同活動報告会の実施

2)発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

大阪府阪南市

テーマ:阪南市の産業振興と魅力発信
●報告について メンバーそれぞれがポスター制作において担当した箇所について発表した。具体的には阪南市とその課題とは、まちあるきや地域のイベントについて、SNS での発信について、活動を振り返ってのまとめなど。阪南市 LPP は今年度で活動が終了するため、2 年間の活動の総括とともに報告を見に来てくださった市役所の方に感謝をお伝えできたことも良かった。昨年はそれぞれのポスター周辺に集まっての発表だったため手狭に感じる場面もあったが、今年は広いスペースを使えたので 8 人での発表も問題なく、発表前後の移動もスムーズだったように感じる。 報告会の後の交流会では、阪南市の隣町である岬町の観光協会の方とお話しさせていただいた。岬町でもイルミネーションなどの取り組みを行っており、SNS をみて訪れる方が多いそうで、特に私たち世代に情報を届けるための SNS の重要性について再認識することができた。